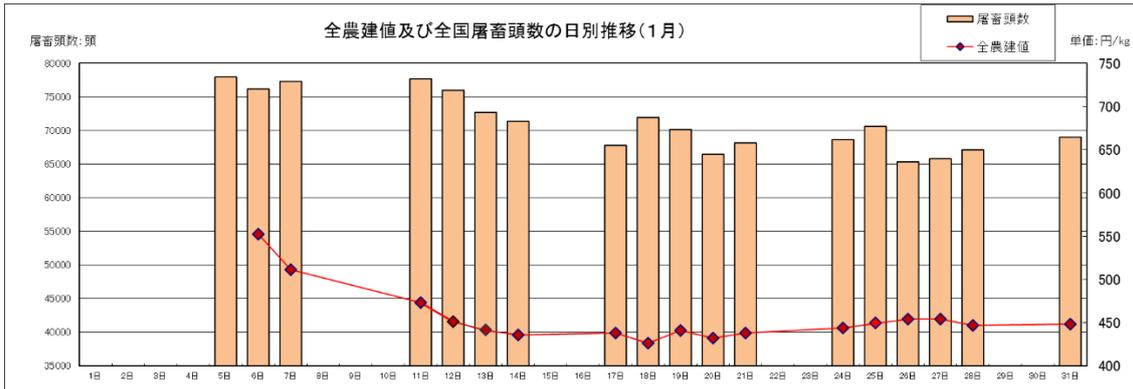


# 肉豚インフォメーション（1月）

## 【全農建値】

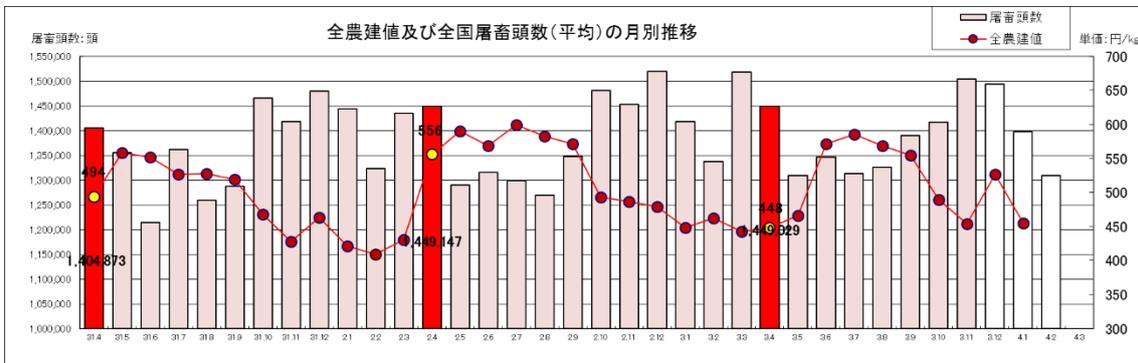
2022年1月（税抜）	2021年1月（税抜）
455円/kg（7円高）	448円/kg

1月は、年明け連休に向けた手当て買いなどが見られ高い相場展開となったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響や年末の反動を受けて需給は緩み中旬以降下げる展開となった。



## 2月以降の動向

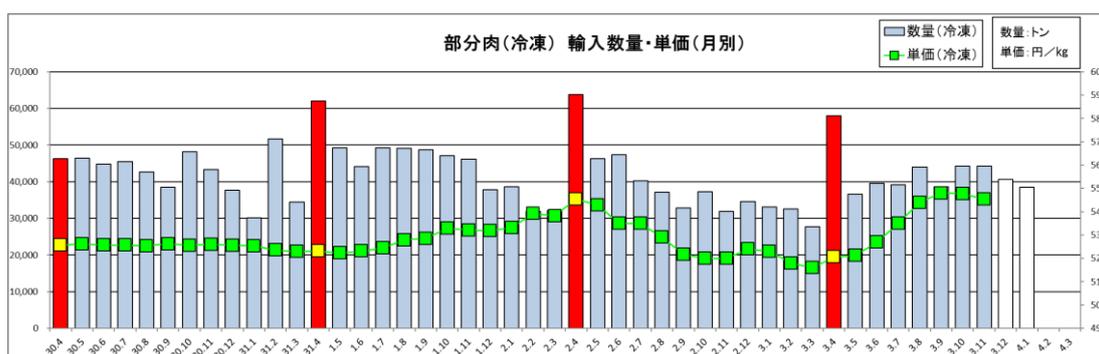
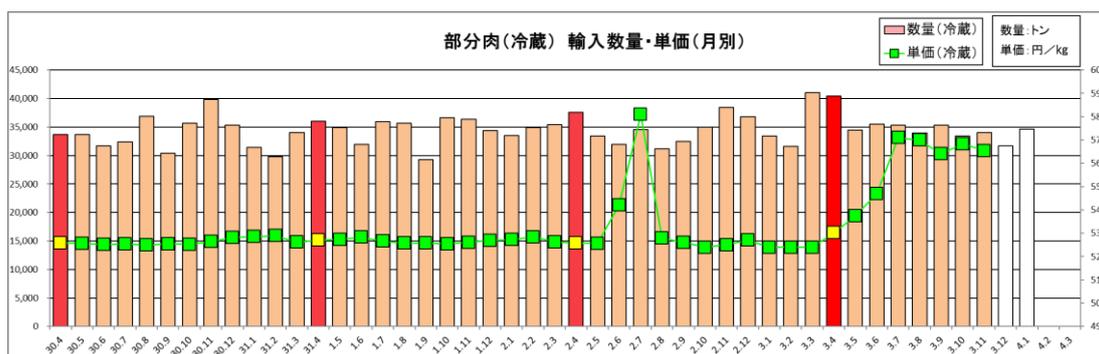
2月の出荷頭数は、前年同月をわずかに下回ると予測されている。



冷蔵品輸入量は、1月はカナダの洪水の影響による入船遅れにより前月分が繰越されたこと等から、前年同月をわずかに上回ると予測する。2月は、前年の輸入量が新型コロナウイルス感染症の影響による北米からの入船遅れにより少なかったことから、前年同月をやや上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をやや下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、中国の買い付けが弱まったことにより相場が下がった欧州産の輸入量が増えていること等から、1月は大幅に、2月はかなり大きく、いずれも前年同月を上回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期を大幅に上回ると予測する。

(ALIC 豚肉の需給予測について 1月27日)



新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、まん延防止等重点措置などの影響もあり個人消費動向への影響が懸念されるが、豚肉需要については巣ごもり需要が堅調に推移することが予想される。

また、新型コロナウイルスや天候の影響により、引き続き北米からの輸入豚の供給不安や鳥インフルエンザの影響による国産鶏肉の供給不安がある中で、スーパーなどの量販店では国産豚肉にシフトしていくことが予想される。

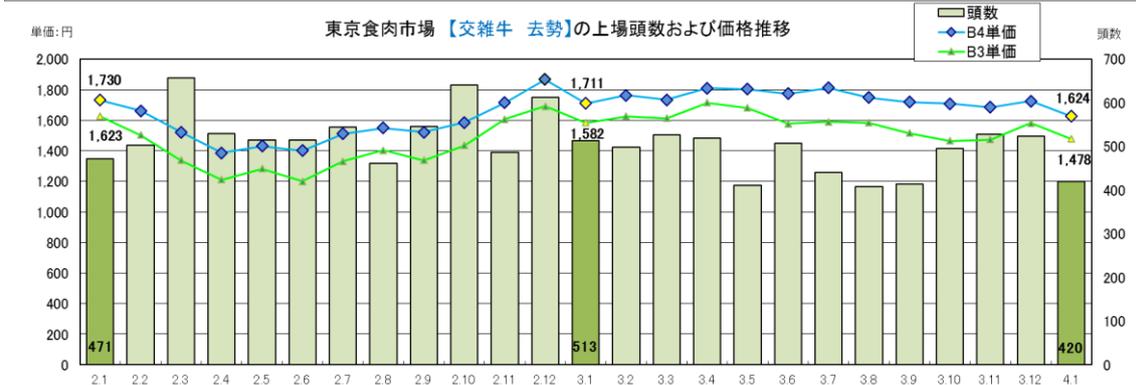
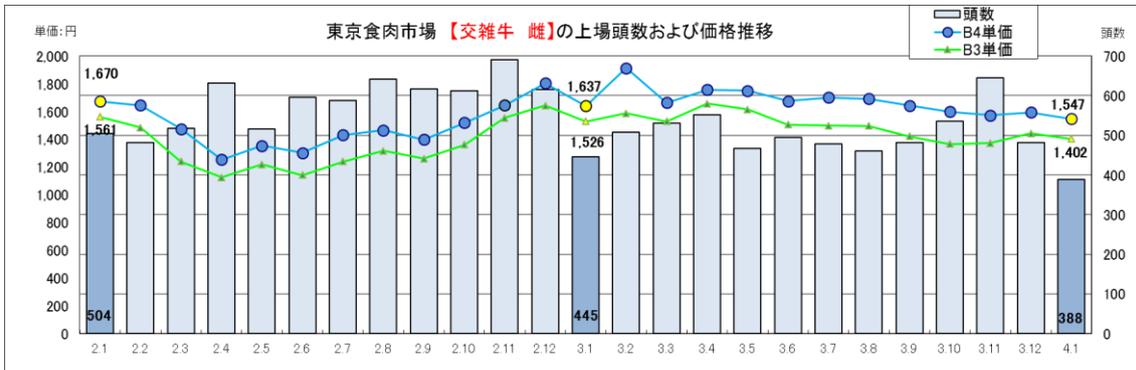
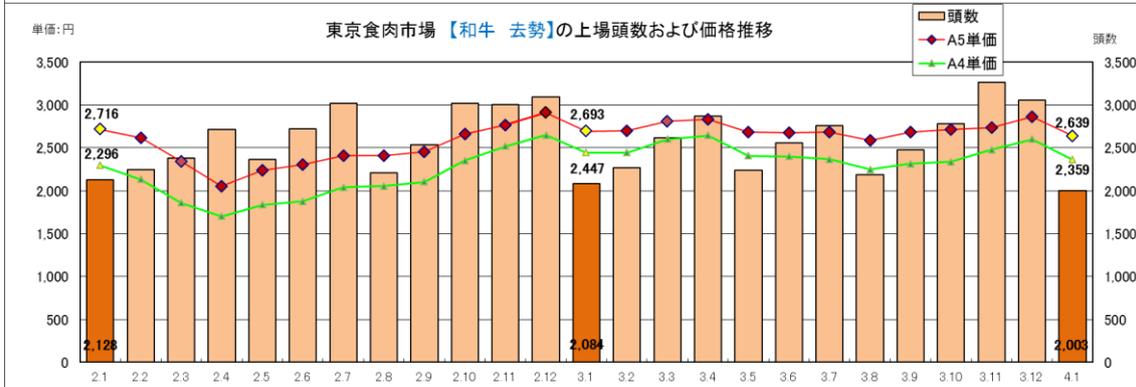
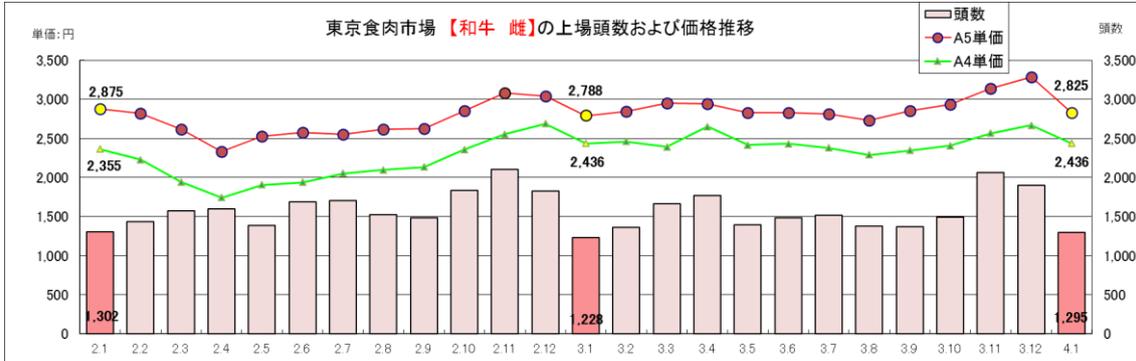
2月の相場は底堅く推移する見通し。

全農建値(税抜) 予測レンジは 440 円～490 円とする。

# 肉牛インフォメーション（1月）

## ● 1月の動向

新型コロナウイルスの感染拡大が影響し、和牛と交雑牛ともに弱含みの相場で推移した。相場が前週比にして50円～100円近く下がる週もみられた。



● 2月の動向予測

東京食肉市場では、稼働への影響を最小限にするため作業者を確保し、と畜ラインを1本減らす模様。実質出荷調整となるが相場への期待は薄く、1月の相場状況が続くと見込む。

2月相場は「弱もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2,600円（税込み）      A4等級 2,350円（税込み）

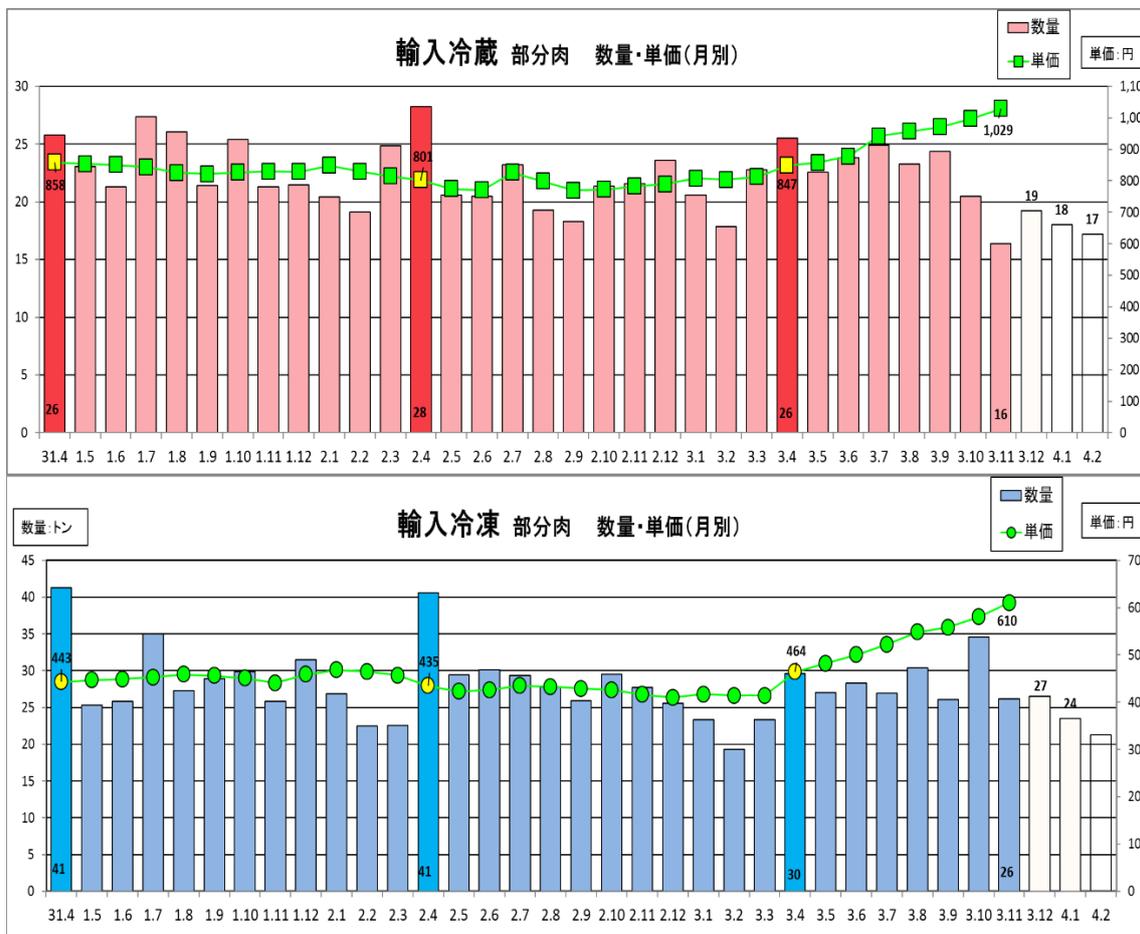
交雑去勢 B4等級 1,450円（税込み）      B3等級 1,200円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、豪州及び米国における現地価格の高止まり等により、1月はかなり大きく、2月はやや、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、1月は、豪州産の輸入量が現地価格の高止まり等により減少するものの、他国産の輸入量が増加することから、前年同月をわずかに上回ると予測する。2月は、米国産の輸入量が現地価格の高止まり等により減少するものの、他国産の輸入量が増加することから、前年同月をかなりの程度上回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をわずかに上回ると予測する。

(A L I C牛肉の需給予測について1月27日)



●消費動向

食肉業界では、新型コロナウイルスの急増により外食店への影響が顕著に出ている。依然として先行き不透明な状況は続くが、消費行動の多様化により様々な手段で食事をすることが可能になった。引き続き、量販店やデリバリー、Eコマース等の消費に期待したい。

●全農茨城県本部家畜市場動向

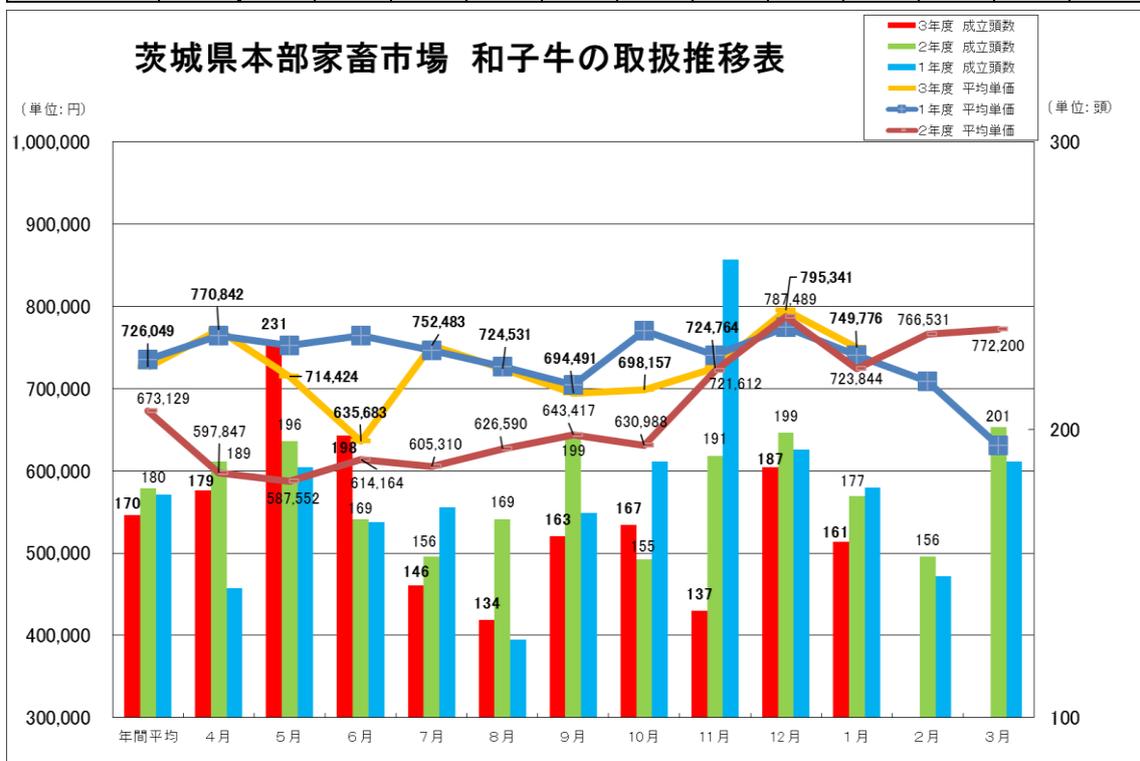
素牛平均価格（1月税込）は、黒毛和種の雌は649,911円で前月比▲78,317円、去勢は815,667円で前月比▲28,766円となった。上場頭数（成立）は161頭で前月比▲26頭。

次回上場頭数は163頭を予定している。

全農茨城県本部家畜市場実績（和牛子牛）

(税込)

	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年度 平均単価	735,223	764,223	752,015	764,621	746,382	726,806	704,141	769,994	740,279	774,343	740,581	708,666	630,626
去勢	791,182	804,333	799,867	842,908	797,996	801,132	732,566	818,370	797,145	846,297	814,402	757,106	682,060
雌	659,697	707,400	675,585	684,447	680,659	631,348	657,786	702,635	661,359	682,919	639,563	633,657	559,009
2年度 平均単価	673,129	597,847	587,552	614,164	605,310	626,590	643,417	630,988	721,612	787,489	723,844	766,531	772,200
去勢	734,165	649,837	642,142	674,214	650,911	694,492	709,130	714,912	794,798	850,944	799,476	794,563	834,562
雌	598,275	513,364	510,047	545,753	561,990	550,285	562,199	552,310	635,950	707,450	630,022	724,591	685,339
3年度 平均単価	726,049	770,842	714,424	635,683	752,483	724,531	694,491	698,157	724,764	795,341	749,776		
去勢	783,916	835,115	780,016	692,025	806,078	783,500	754,794	756,500	771,029	844,433	815,667		
雌	642,892	694,811	609,771	570,768	668,800	605,318	628,777	608,940	663,598	728,228	649,911		
1年度 成立頭数	178	145	187	168	173	127	171	189	259	193	180	149	189
2年度 成立頭数	180	189	196	169	156	169	199	155	191	199	177	156	201
3年度 成立頭数	170	179	231	198	146	134	163	167	137	187	161		



# 食肉インフォメーション（1月）

日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査 12 月度結果報告によると、飲食店への営業制限がなかったことから全体売上は対前年比で 109.5%と回復したが、コロナ前の 2019 年比では 92.0%にとどまった。年末の帰省に合わせた少人数の外食需要が回復を見せた一方、酒類提供を伴う業態については大口の宴会のような夜間の外食需要が戻らず、2019 年比で 54.7%と苦しい状況。加えてコロナ禍に伴う閉店等での店舗数減少により業態の市場規模が大幅に縮小し、市場構造そのものが変容しつつある。

量販店については、日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3 団体の 12 月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は 1,134 億円(前年同月比 98.2%、既存店ベース 96.7%)と前年割れとなった。国産品・輸入品双方での価格高騰や内食需要の落ち着きによる販売数量減少が続いたが、年末商戦では帰省などによる“プチ贅沢”傾向が強まり、和牛などの高価格商品や大型パック商品が好調に推移した。

1 月は、年始や成人の日を含む 3 連休の後は食肉の需要が鈍る時期だが、ここきてオミクロン株の感染拡大による「まん延防止等重点措置」の適用や食品価格の値上げが相次ぎ、消費者の不安感が増す中での厳しい展開が予想される。

## ○牛肉

コロナでの制限がなくなった 12 月は、帰省や旅行客の増加により地方の飲食・量販店では和牛を中心に牛肉全体の売れ行きが堅調だったが、都心部や大雪のあった日本海側では厳しく、地域で温度差が見られた。商品では肩ロースを中心としたすき焼き用スライスや煮込み用のブロックが好調だったが、寒波によりステーキ用のロースや焼肉用は伸び悩んだ。

## ○豚肉

12 月は、国産では年末にかけて鍋物需要が堅調に推移したことでスライス系が牽引役となって全体的に良好な荷動きとなった。冷蔵品でバラ・肩ロースが終始好調でロース・モモも荷余り感なく動き、冷凍品もバラを中心に堅調な動きとなった。輸入物はアメリカでの現地価格高騰やカナダでの洪水の影響などで品薄状態が続き、冷蔵品はバラを中心に引き合いが強くなった一方、冷凍品は外食需要の緩やかな回復に応じて荷動きが回復傾向にある。

## ○業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和 3 年 12 月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和 2 年 12 月	15,622	28,418	9,130	60,126	24,184	20,205	7,788	165,473
令和 3 年 12 月	15,879	29,007	10,562	52,511	26,593	14,000	9,627	158,179
増減	257	589	1,432	-7,615	2,409	-6,205	1,839	-7,294
対比	102%	102%	116%	87%	110%	69%	124%	96%